

(公社) いわき青年会議所 財政局長運営方針

財政局長 松崎 慎弥

1 いわき J C はこれまで、諸先輩方の法人運営の知識、経験を引継ぎ、新公益法人法に対
 2 応し、公益法人格の取得、組織の維持・継続をおこなってきました。しかし、近年は在籍
 3 年数の短期間化にともない、経験を積み上げてきた会員が減少し、一部の会員のみが有す
 4 る知識に沿って組織運営がされており、組織力が低下しています。この環境を変えていく
 5 ためにも、知識や経験の継承を確実にを行い、組織力を向上させていかなければなりません。
 6 まずは、公益目的事業比率を達成ができる財務運営を遂行するとともに、公益法人とし
 7 て地域に対して事業運営の透明性を図る為に備置き書類の作成と情報公告を行います。そ
 8 して、いわき J C の財源として会員会費と特別会員費の確保と管理、公的財源である補助
 9 金の管理を行いながら、財源を確保するために特別会員の拡大をしていきます。さらに、
 10 資金管理として毎月、会計帳簿の記載と管理を行い、収支バランスを確認しながらキャッ
 11 シュフロー管理を行っていきます。そして、委員会における事業予算立案について会員会
 12 費と公的財源を運用する重要性を認識してもらい、費用対効果の向上を中心に委員会と協
 13 議し、適正かつ公益性を高められるように委員会に指導をしながら後方支援を行います。
 14 また、各事業において会計規則に基づいた適正かつスムーズな決算処理ができるように指
 15 導し、帳簿と証憑書類の整理と保存を行いながら正確な年度末決算の報告をします。さら
 16 に、財政・規則審査会議を運営しながら各委員会へ議案書マニュアルの周知徹底を行い、
 17 組織力向上と次代のいわき J C の運営と更なる運動発信源となる人財を育成していきます。
 18 人財の強化こそが組織の強化へと繋がり、地域へと貢献するための組織としての体制強
 19 化となります。そして、地域から更なる信頼と期待を得られる力強い組織へと進化してい
 20 き、心が通う J C 運動を展開していくことで、たくましい「いわき」の創造を実現します。